

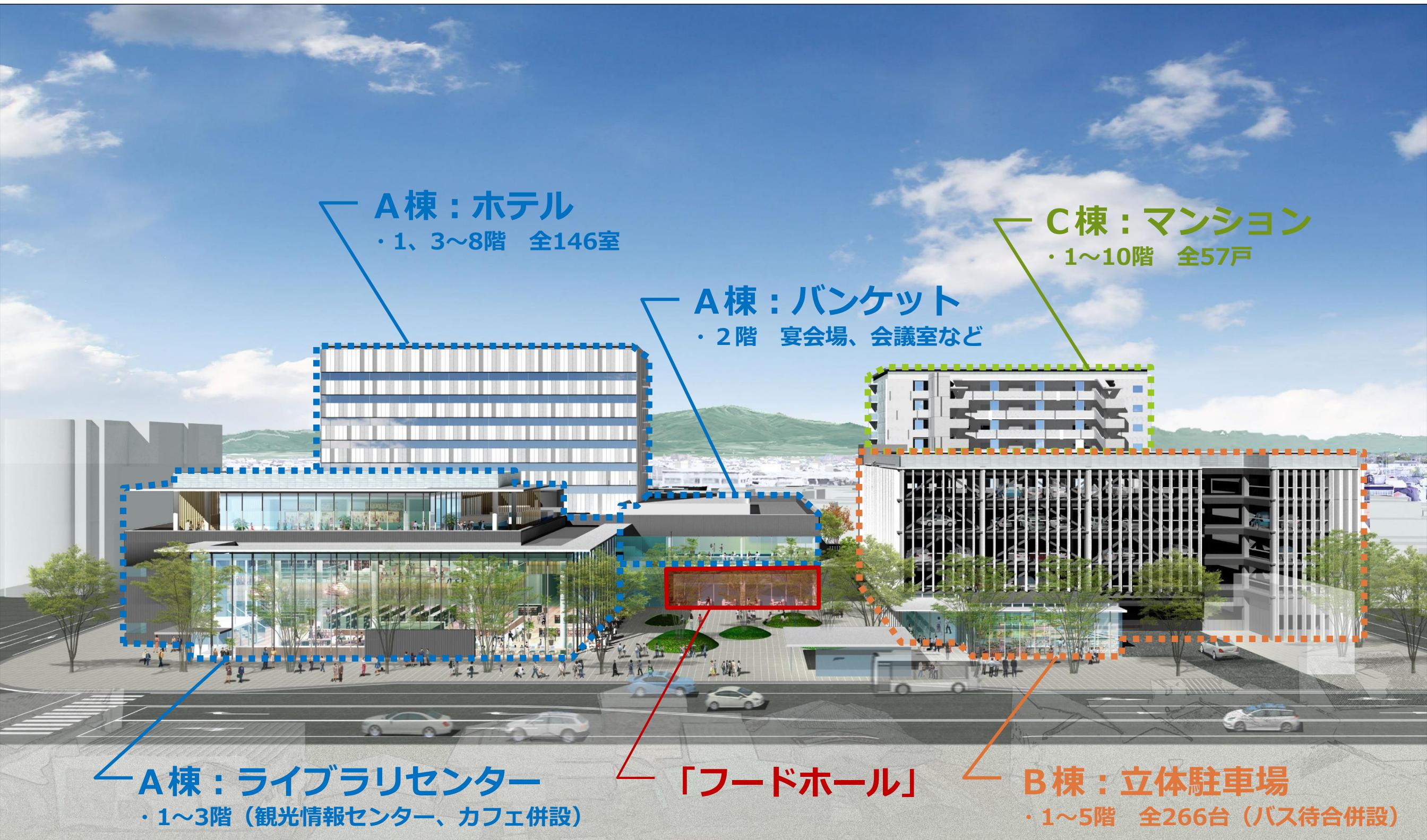
フー ド ホール
酒田 FOOD HALL 計画

平成30年10月1日



株式会社 月見

施設全体計画とフードホールの配置について（完成イメージパース）



A棟：ホテル

・ 1、3～8階 全146室

C棟：マンション

・ 1～10階 全57戸

A棟：バンケット

・ 2階 宴会場、会議室など

A棟：ライブラリセンター

・ 1～3階（観光情報センター、カフェ併設）

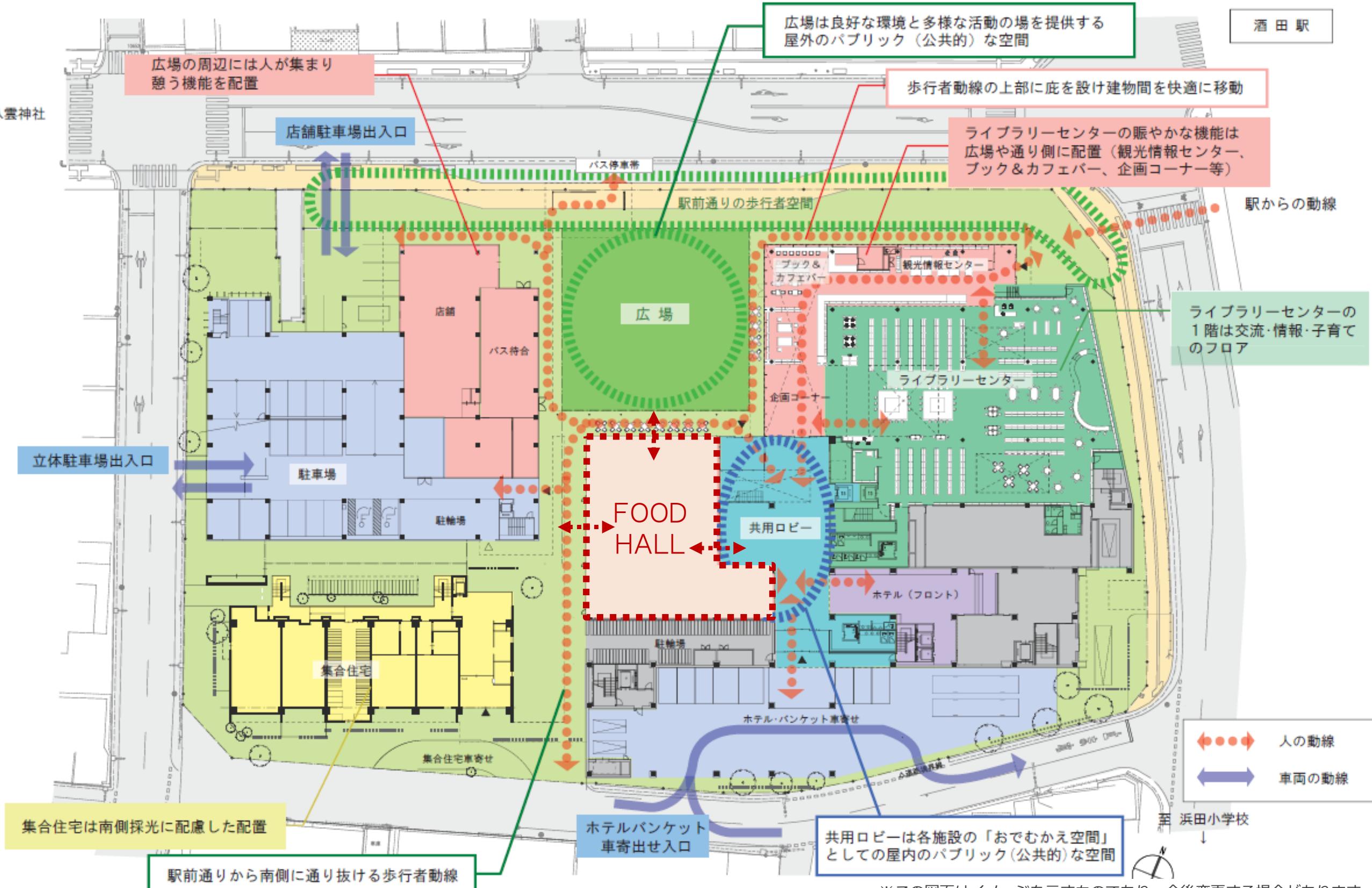
「フードホール」

B棟：立体駐車場

・ 1～5階 全266台（バス待合併設）

※この外観パースはイメージを示すものであり、今後変更する場合があります。

施設全体計画とフードホールの配置について（平面プラン）



広場の周辺には人が集まり憩う機能を配置

広場は良好な環境と多様な活動の場を提供する屋外のパブリック（公共的）な空間

歩行者動線の上部に底を設け建物間を快適に移動

ライブラリーセンターの賑やかな機能は広場や通り側に配置（観光情報センター、ブック&カフェバー、企画コーナー等）

ライブラリーセンターの1階は交流・情報・子育てのフロア

立体駐車場出入口

集合住宅は南側採光に配慮した配置

駅前通りから南側に通り返る歩行者動線

ホテルバンケット車寄せ入口

共用ロビーは各施設の「おでむかえ空間」としての屋内のパブリック（公共的）な空間

人の動線
車両の動線

※この図面はイメージを示すものであり、今後変更する場合があります。

“光の湊”のコンセプト
交流の場所



FOOD HALLの役割

～ヒト・モノ・コトの交流を増幅させる集客施設～

「FOOD HALL」が宿泊者の対象とした施設ではなく、“光の湊”に来街する全ての人を対象とし単独で新たな集客を生み出す施設として整備することで、更に、ヒト・モノ・コトの交流を増幅させます。

“光の湊”の来街者像

コミュニケーションポートの来街者

- 観光情報を問い合わせる観光者
- 広場に寛ぎくる近隣の人々
- 情報、文化のアーカイブを得ようとするライブラリーセンター利用者



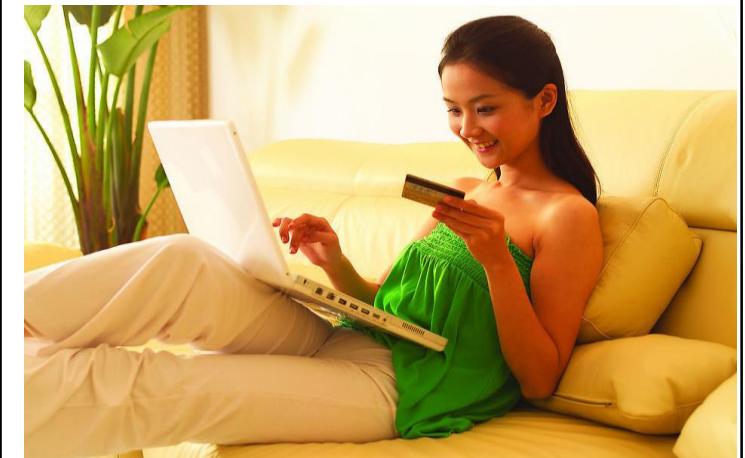
ホテル利用者（宿泊者）

- 酒田市観光客
- ビジネス利用客
- ホテルレストラン利用客



居住者・駅&バスベイの利用者

- 電車&高速・路線バス利用者
- 周辺居住者
- 新設マンション居住者
- 駅前周辺へ来街する人々



FOOD HALLのターゲット

複合施設である光の湊には、性別や年齢を問わない幅広い人々が、様々な目的で来街するものと想定されます。
また、文化度が高く洗練性を有する大人の来街者も多く訪れるものと想定されます。

基本的には“光の湊”の来街者の全てをターゲットとする

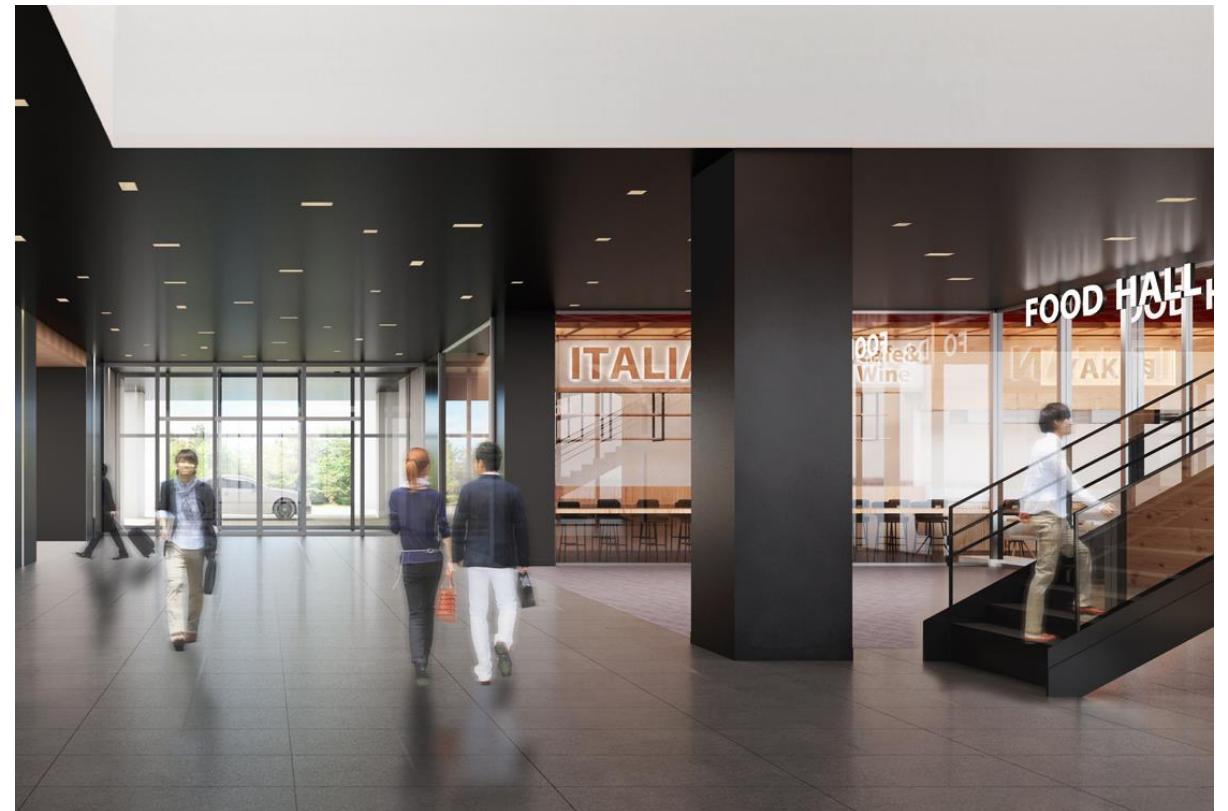
“光の湊”の来街者は文化度が高い大人であると想定



新スタイルのフードホールによる賑わい・集い

複数の店舗で選んだ料理が楽しめる スタイリッシュな大人の新業態レストラン 「酒田 FOOD HALL」

- 複数の専門料理店が一つの場所（ホール）に集積する新業態飲食です。
- 店舗にはカウンター席があり、また、どの店舗の料理も楽しめる共用席（ホール）が展開されています。
- FOOD HALLは百貨店の食品売場的な機能も有し、食料品の物販売場でもあります。



※このパースはイメージを示すものであり、今後変更する場合があります。

『光の湊』がめざす 酒田FOOD HALL

酒田市民に支持され、常に賑わう「飽きられない」飲食施設。

酒田FOOD HALLは、カジュアルな飲食業態であるとともに上質な空間として誰もが利用しやすい飲食施設をめざします。（メインターゲット：酒田市民）



市民のコミュニティひろば
地元食材を楽しめる大食堂
語らいの場としての空間
(にぎわい)

＜酒田へのこだわり＞



＜酒田の新名所＞



観光の起点+市民の憩いの場
上質なホテルを演出する
スタイリッシュな内装
(デザイン)

■ 空間イメージ ■

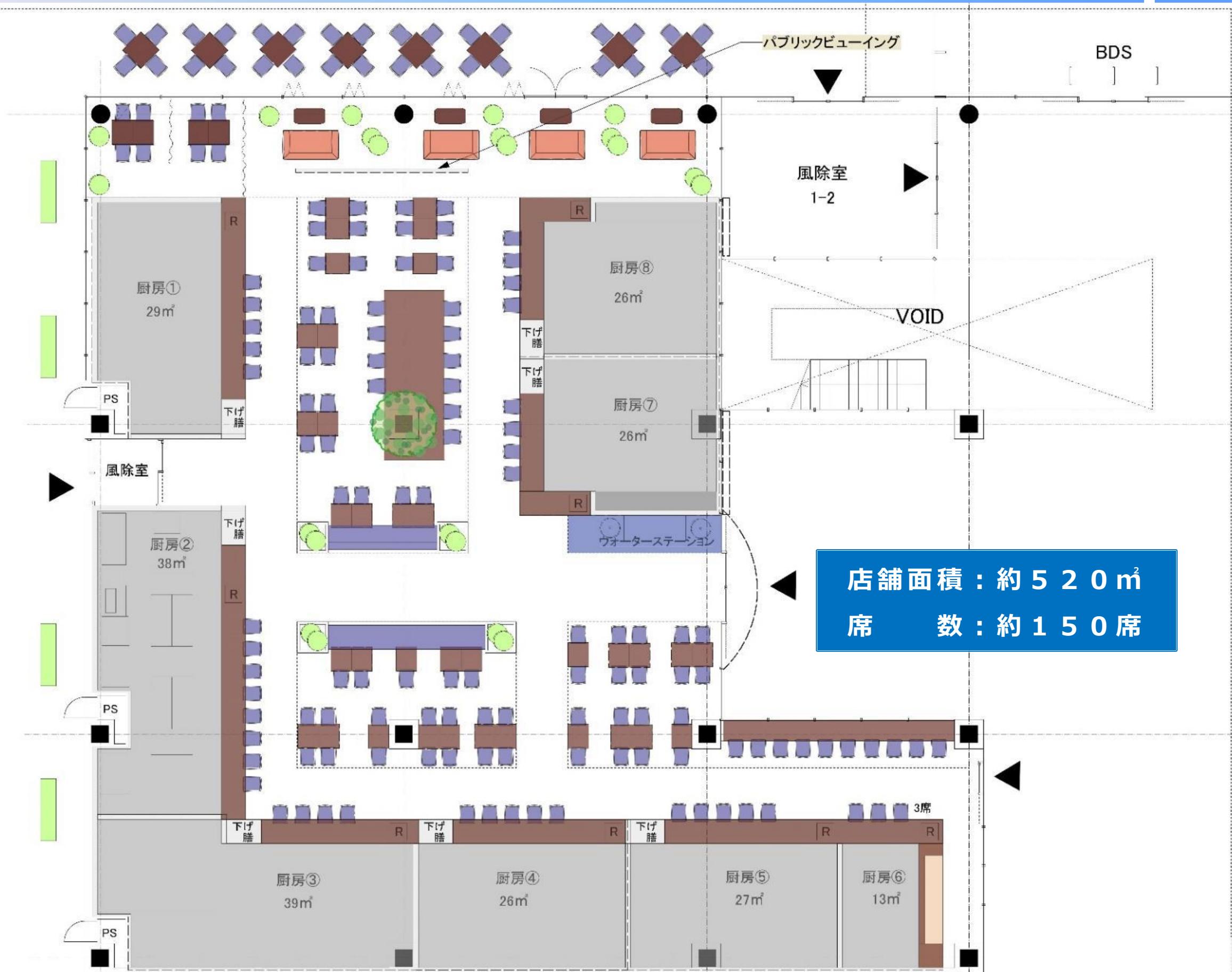


酒田の『食』を集積

酒田で親しまれている飲食店を集積させることで
市民はもとより観光客、ビジネス客など様々なシチュエーションでも
酒田の食が楽しめます。



※この店舗構成はイメージを示すものであり、今後変更する場合があります。



店舗面積：約 520 m²
 席数：約 150 席

※この図面はイメージを示すものであり、今後変更する場合があります。